

救出要領

要救助者を救出し、陸上へ引き継ぐまでの活動要領を示す。

1 基本事項

- ・ 要救助者を救出する際、クルーは IRB のバランスを維持するため、船内での移動は出きる限りゆっくり行い、操船に対しての影響を最小限にする。
- ・ 救出活動の過程で、水中にいる要救助者が IRB の下に潜り込んだ場合は、ドライバーは船外機をニュートラル若しくは緊急停止し、船尾を要救助者から離す。

2 意識のある要救助者の救出要領

(1) アプローチ

ア 要救助者の確認

- ・ 乗船員全員で要救助者の位置を確認する。
- ・ レスキューアーは要救助者との距離を乗船員へ周知する。

イ 接近

- ・ 要救助者へ声を掛けながら、風下から接近する。

※ 風・流れ・波等の状況を見極め、最も安全な方法で接近する。

(2) ピックアップ

ア 要救助者に体力がある場合

- ・ 要救助者を IRB の左舷（ドライバー側）につける。
- ・ 要救助者にライフラインを掴ませ、乗船させる。
- ・ レスキューアーは要救助者が乗り込むのを補助する。

イ 要救助者に体力がない場合

- ・ 要救助者を IRB の左舷（ドライバー側）につける。
- ・ レスキューアーは要救助者の手をつかみ、要救助者の背部がフロートにつくよう体勢を変える。
- ・ レスキューアーとクルーは要救助者の手と脇を確保し、要救助者をバウンドさせるよう上下し、勢いを利用し船内に引き込む。

3 意識のない要救助者の救出要領

(1) アプローチ

ア 要救助者の確認

- ・ 乗船員全員で要救助者の位置を確認する。
- ・ レスキューアーは要救助者との距離を乗船員へ周知する。

イ 接近

- ・ 要救助者へ声を掛けながら、風下から接近する。

※ 風・流れ・波等の状況を見極め、最も安全な方法で接近する。

(2) ピックアップ

- ・ 要救助者を IRB の左舷（ドライバー側）につける。
- ・ レスキューアーは体を乗り出して、要救助者の体の一部をつかむ。
- ・ 要救助者の両脇から手をいれ確保し、船内に引き込む。
- ・ クルーは要救助者の足を抱え、引き込むのを補助する。
- ・ ドライバーはレスキューアーが要救助者の両脇に手を入れ確保したら、少しだけアクセルを開き、要救助者の体を浮かし、引き込むのを補助する。

4 不安定環境下での救出要領

(1) IRB が近寄ることが危険な場合

- ・ 波の崩れる所や岩礁・障害物等により要救助者に近寄ることが危険な場合は、レスキューアーにレスキューチューブとフィンをつけるよう指示する。
- ・ ドライバーは、可能な限り要救助者に接近してレスキューアーを下船させる。レスキューアーは旋回する IRB の内側での活動を原則とし、要救助者を確保した後、安全な場所でアイドリングしている IRB に戻る。

(2) 要救助者が多数いる場合

- ・ 要救助者は IRB に対し、全方向から接近してくる可能性があるため、船外機のプロペラで受傷することのないよう、引き上げを行っている間は、エンジンをニュートラルにしておく。
- ・ 緊急性の高い要救助者を優先し救出する。すぐに救出できない要救助者にはレスキューチューブを投げるとともに、声掛けを行う。

5 陸上への引継ぎ要領

(1) 船首から接岸する場合

- IRB の船首を岸壁に対してゆっくり直角に接岸する。
- 船首が接岸したら、ドライバーは船外機のアクセルを適度に上げ、IRB の船首を一定の力で岸壁に押し当て、IRB が動揺しないようコントロールする。

(2) 接岸時の注意事項

- 岸壁等に IRB を接岸させる場合、貝などが付着する岸壁と IRB 本体は水面の動揺により摩擦が生じるため、防舷材等を活用し保護する。

